

えており、今後、認定こども園化を進めていくことで待機児童を減少させることが一番のメリットだと考えている。

◆請願第12号

「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める意見書の提出を求める請願

説明 安心して次代の社会を担う子供を産み育てることが出来る環境づくりのため、「国による妊産婦医療費助成制度創設」をすること、また、国民健康保険における、自治体独自の現物給付での福祉医療制度を実施する場合の国庫負担金の削減措置を廃止することに関し、政府等関係機関に対し意見書を提出するよう求めるもの。

意見1 請願の趣旨は理解できるが、すでに国において、妊婦加算を含む医療保障制度の見直しがなされている状況にあることから、あえて意見書を提出する必要性はなく不採

択にすべき。

意見2 請願の趣旨だけを見ると採択すべきとも思われるが、現在、国において審議を重ねられている状況を鑑みると趣旨採択が妥当。

意見3 妊産婦医療費助成制度については、東日本では県独自の制度として導入しているところもあるようだが、西日本では導入している自治体は少ないようである。また、愛媛県議会においても審議はされており、仮に、制度が創設されれば、地方自治体においても相応の財政負担が生じることから、現在の自治体の財政状況を考慮すれば趣旨採択にすべき。

審査結果 趣旨採択

産業建設委員会

委員長 新山 勝久

◆アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業費補助金について

説明 昨年8月以降、有効なワクチンや治療法のないアフリカ豚コレラがアジア地域で急速に拡大してお

り、現時点では、日本国内での発生は確認されていないが、アフリカ豚コレラの予防及び蔓延防止対策を早急に進め、感染拡大防止と畜産物の安定供給を図るため、養豚経営者が行う野生動物侵入防止の防護柵（ワイヤーメッシュ柵）の整備に対し費用の一部を支援するもの。

問 防疫対策など、ワイヤーメッシュ柵の整備以外の対応は考えていないのか。

答 今までも防疫対策が重要だというところで、飼養衛生管理基準に基づき進めてきたが、それが徹底されていないのではないかと話もあり、県の南予家畜保健衛生所とともに、市内の農場に対し指導を行っているところで、今後も継続した指導が必要だと考えている。また、基準により、農場等へウイルスの持ち込みを防止するための車両消毒設備等の整備や、野生動物等からのウイルス感染防止の防鳥ネット等の整備

に対しても県が3分の1の補助をするなど、支援体制への対応は十分できている。今回は各農場さんが要望

された、ワイヤーメッシュ柵の整備について予算措置したい。

◆請願第11号

日米FTA交渉は中止し、日米貿易協定の国会承認は行わないことを求める請願

説明 食料主権と経済主権を侵害する日米FTA（自由貿易協定）交渉を中止し、9月に日米が合意した農産物、工業製品等の関税分野に関する協定について、国会の承認は行わないよう政府及び関係機関に意見書を提出するよう求められているもの。

意見1 日本の農業を守ることは、日本の国土や地域を守ることであり、食料の自立をしていくためにも重要な問題である。また、学校給食でも外国産の小麦が使用され、安全という点でも国内産が求められているため、この請願は採択すべき。

意見2 国内農業を守らなければならないことに全く異論はないが、世の中がグローバル化し、いろいろなものが国の垣根を飛び越え、世界中